

政策コメントター報告(第2回)(意見照会期間:2016年10月31日~11月11日)

分野:	その他
氏名:	中尾 潤 公益財団法人オリンピックパラリンピック競技大会組織委員会マーケティング局次長
質問事項	記述式回答
予測される経済・社会的な構造変化(2030年)	(300字以内で回答してください)
(1)① 2030年には、各分野において、どういった経済・社会的な構造変化が予測されるでしょうか。	①世界経済:経済はグローバル化したが、政治は土着化。世界規模での富の再配分機能は不在。②世界経済:貨幣経済に加え、シェア経済というビジネスモデルがリバイバル。ビジネスのゴールデンルールの崩壊。③流通環境:インターネットと物流システムと電子決済システムの普及により電子取引の拡大。国境を超える購買の増加。④国内経済:経済成長の鈍化と消費マインドの低下。GDPの拡大が国内労働市場の拡大や賃上げに結び付かない構造。
目指す経済・社会の姿(2030年)	(200字以内で回答してください)
(1)② また、そうした構造変化を踏まえ、我が国が目指す経済・社会の姿はどうあるべきでしょうか。	日本経済は①人口の低下 ②新規に所有したいと思う商品の減少 ③老後の生活不安 ④投資すべき産業があっても人がいない という状況。つまりお金が動かない社会になっている。日本の経済政策を、「新しい市場をつくったり、既存市場の中のシェアを奪うこと」から、「お金の回転率を上げること」に戦略転換してはどうか。「お金を回転した人(購買した人)から税金をとる」のではなく、「お金を回転させなかった人(貯金や内部留保した人)から税金をとる」という方向に変えるべき。⑤気候変動。
今後取り組むべき構造改革(2016年~2030年)	(300字以内で回答してください)
(2) 上記(1)で挙げられた経済・社会の姿を実現するためには、足元から今後に向けてどのような構造改革に取り組むべきとお考えでしょうか。基本的な考え方や具体的な方法がございましたらご記載ください。	日本経済の資産の停滞を防ぎ、回転率をあげる施策のジャストアイデアです。①カネ:使う人に課税→貯めこむ人に課税。②モノ:所有経済→シェア経済。③ヒト:1社雇用→複数社雇用。(企業+企業/企業+NPO/企業+家庭/家庭+家庭=選択の自由)等。